

第74期（2023年3月期） 決算補足説明

ナイス株式会社

（証券コード8089）

この説明資料には将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
将来予測にはリスクや不確定な要因などが含まれており、実際の成果や業績は予測と異なる可能性があります。

「ナイスの森」を育てています

「木材流通」をルーツとする当社は、
利益の一部を山林に還元するという考えに基づき
8つの社有林「ナイスの森」を保全育成しています

「ナイスの森」総面積 2,021.3ha
年間二酸化炭素吸収量 約7,400t-CO₂
炭素貯蔵量 約580,000t-CO₂



熊野の森
(和歌山県新宮市)
1980年取得/140.5ha



丹沢の森
(神奈川県厚木市)
1990年取得/12.2ha



川根の森
(静岡県島田市)
2001年取得/102.7ha



猪苗代の森
(福島県郡山市)
2007年取得/212.0ha



徳島の森
(徳島県那賀町)
2008年取得/818.7ha



岐阜の森
(岐阜県下呂市)
2012年取得/654.3ha



京都北山の森
(京都府京都市)
2012年取得/50.0ha



津久井の森
(神奈川県相模原市)
2015年取得/30.9ha

Nice

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ナイスグループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

目次

- 1 2023年3月期連結業績
- 2 連結決算概要
- 3 今後の見通し
- 4 「中期経営計画2023」

1. 2023年3月期連結業績

2023年3月期 通期業績予想と実績

(単位：百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 8月10日公表予想	2023年3月期 実績	増減額 8月10日公表予想比
売上高	229,514	228,000	236,329	+ 8,329
営業利益	10,224	5,600	5,292	△307
経常利益	9,589	4,800	4,949	+ 149
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,482	3,600	3,780	+ 180
1株当たり当期純利益	410.56円	305.71円	320.70円	+ 14.99円
年間配当金	※1 50円	40円	40円	± 0円

※1 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当40円 特別配当10円

2. 連結決算概要 損益計算書

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比
売上高	229,514	236,329	+ 6,814
<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築資材事業 ■ 住宅事業 ■ その他の事業 	<ul style="list-style-type: none"> 181,512 37,578 10,423 	<ul style="list-style-type: none"> 184,632 41,530 10,166 	<ul style="list-style-type: none"> + 3,119 + 3,952 △256
売上総利益	37,233	32,068	△5,165
営業利益	10,224	5,292	△4,931
経常利益	9,589	4,949	△4,640
親会社株主に帰属する当期純利益	4,482	3,780	△702

2. 連結決算概要

セグメント利益

- 木材価格の調整局面により木材部門の利益率は低下したものの、建築資材事業の業績は堅調に推移
- 建築資材セグメントの当期の営業利益は、ウッドショックの影響を受けた前期を除き過去最高水準
- 住宅セグメントは、免震マンション3棟の計上等により前期比増益

(単位：百万円)

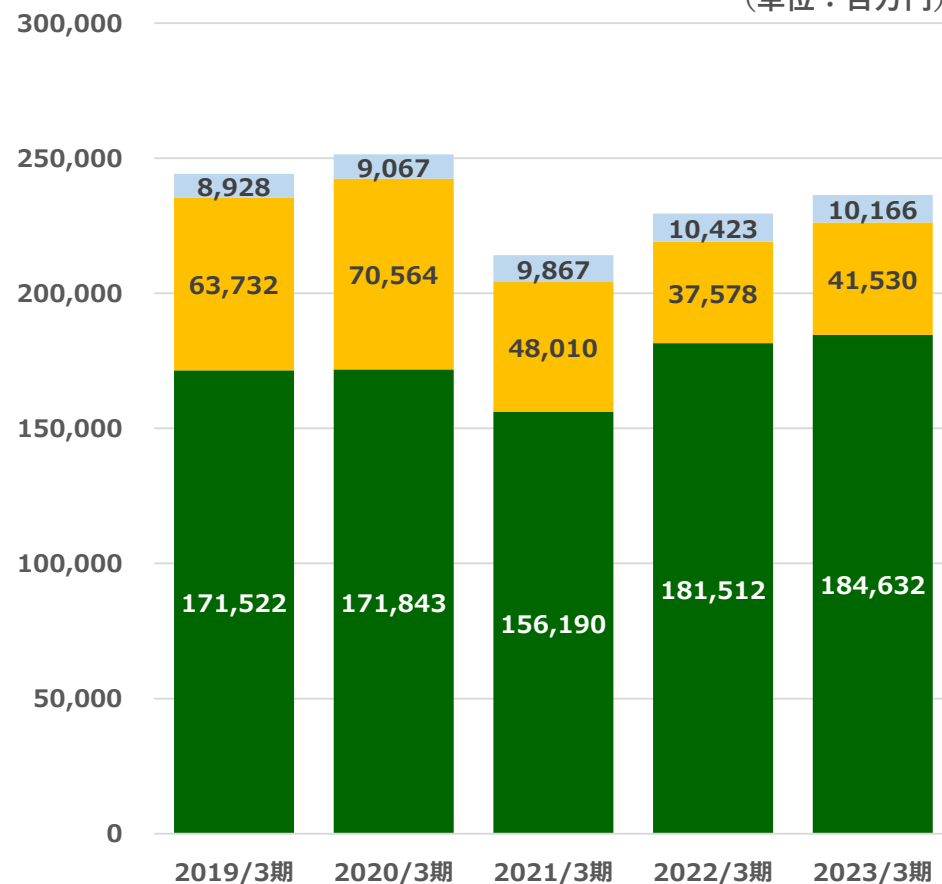
【セグメント】	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期比
建築資材	3,144	10,615	4,068	△6,547
住宅	2,201	306	1,756	+1,450
その他	859	1,249	1,329	+80
計	6,205	12,171	7,154	△5,017
消去又は全社費用	△1,711	△1,947	△1,862	+85
連結	4,493	10,224	5,292	△4,931

2. 連結決算概要

セグメント別売上高/セグメント別営業利益

セグメント別売上高 ※1

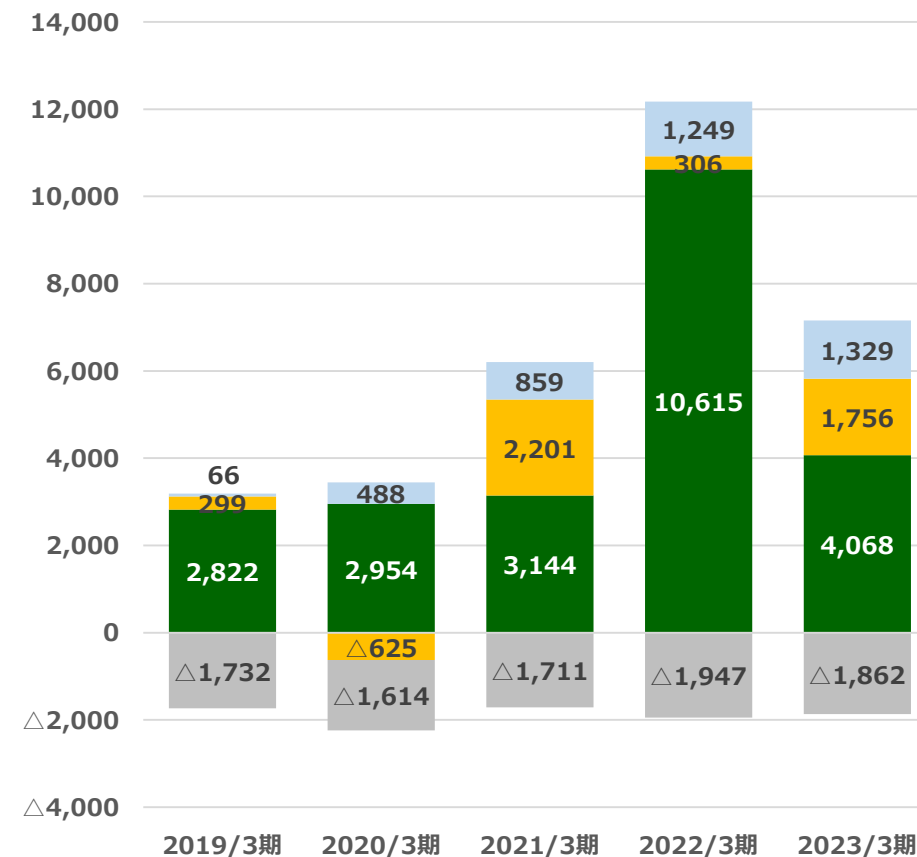
(単位：百万円)



■ 建築資材 ■ 住宅 ■ その他

セグメント別営業利益

(単位：百万円)



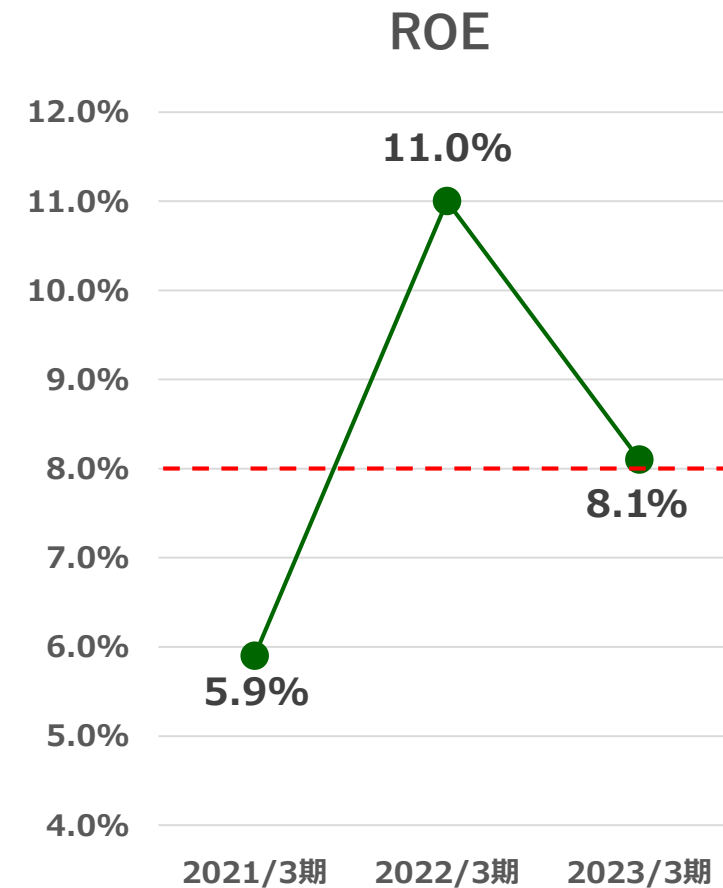
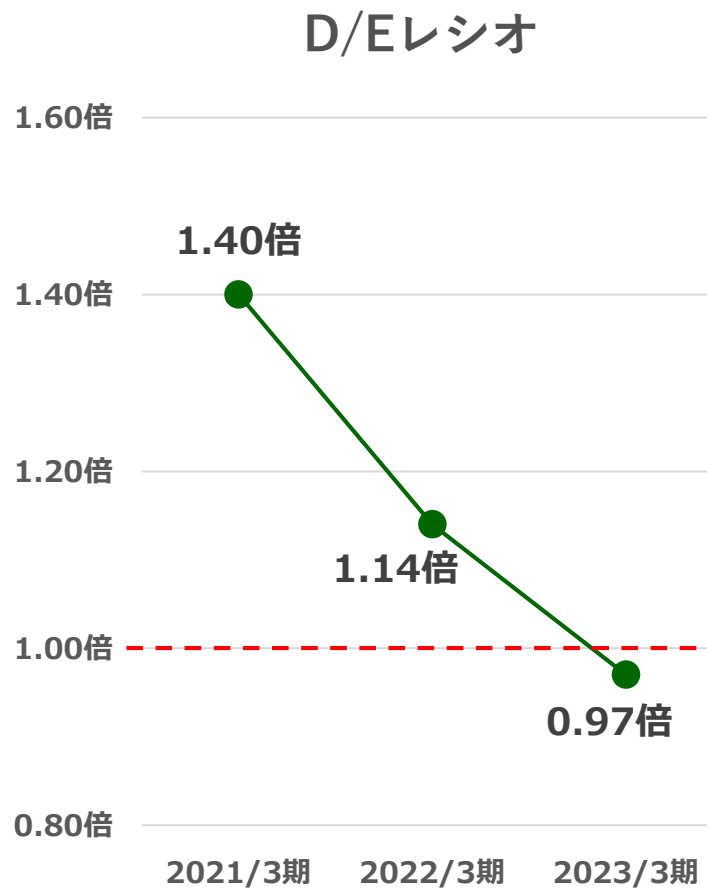
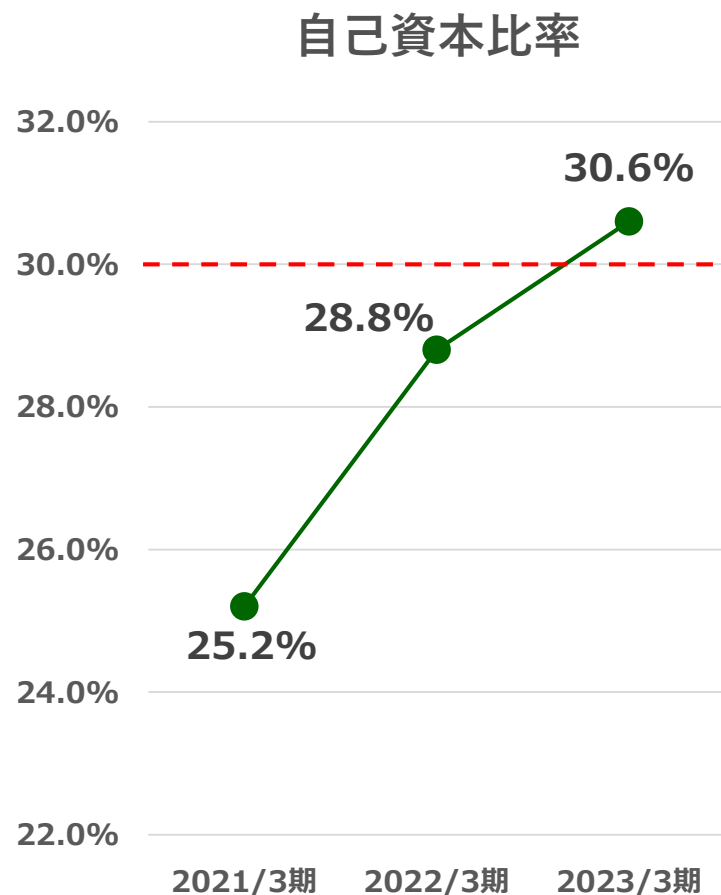
■ 建築資材 ■ 住宅 ■ その他 ■ 消去又は全社

※1 2022年3月期の期首より収益認識会計基準等を適用

2. 連結決算概要

財務指標の推移

■ 2021年5月12日公表の中期経営計画に掲げた最終年度（2024年3月期）における財務指標目標（自己資本比率30%、D/Eレシオ※1倍以下、ROE8%）を前倒しで達成



※ D/Eレシオ：(社債+借入金)/(株主資本+その他の包括利益累計額)

2. 連結決算概要 貸借対照表

(単位：百万円)

		2022年3月期末	2023年3月期末	前期末比
資産	現金及び預金	29,107	32,421	+ 3,313
	売上債権	46,689	41,328	△5,360
	商品	11,309	10,023	△1,285
	販売用不動産・未成工事支出金	10,382	11,522	+ 1,140
	その他資産	60,432	61,425	+ 993
	資産合計	157,921	156,722	△1,199
負債及び純資産	仕入債務	35,681	37,355	+ 1,674
	社債・借入金	51,717	46,406	△5,311
	その他負債	21,979	21,570	△408
	負債合計	109,378	105,332	△4,045
	株主資本	46,111	49,003	+ 2,892
	その他の包括利益累計額	△700	△1,000	△300
	非支配株主持分	3,132	3,387	+ 254
	純資産合計	48,543	51,390	+ 2,846
負債・純資産合計	157,921	156,722	△1,199	

2. 連結決算概要

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,734	12,956	+ 11,222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△675	△2,344	△1,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,278	△5,977	△10,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	30	△7
現金及び現金同等物の増減額	5,375	4,665	△709
現金及び現金同等物の期首残高	27,631	33,006	+ 5,375
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△323	△323
現金及び現金同等物の期末残高	33,006	37,348	+ 4,341

3. 今後の見通し 連結業績の見通し

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
売上高	236,329	244,000	+ 7,670
営業利益	5,292	4,500	△792
経常利益	4,949	4,000	△949
親会社株主に帰属する当期純利益	3,780	3,800	+ 19

将来の見通し及び計画に基づく予測には不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しています。
 従って、将来の業績は現時点での当社の予想に対して大きく異なる可能性があります。

3. 今後の見通し

連結セグメント別売上高の見通し

(単位：百万円)

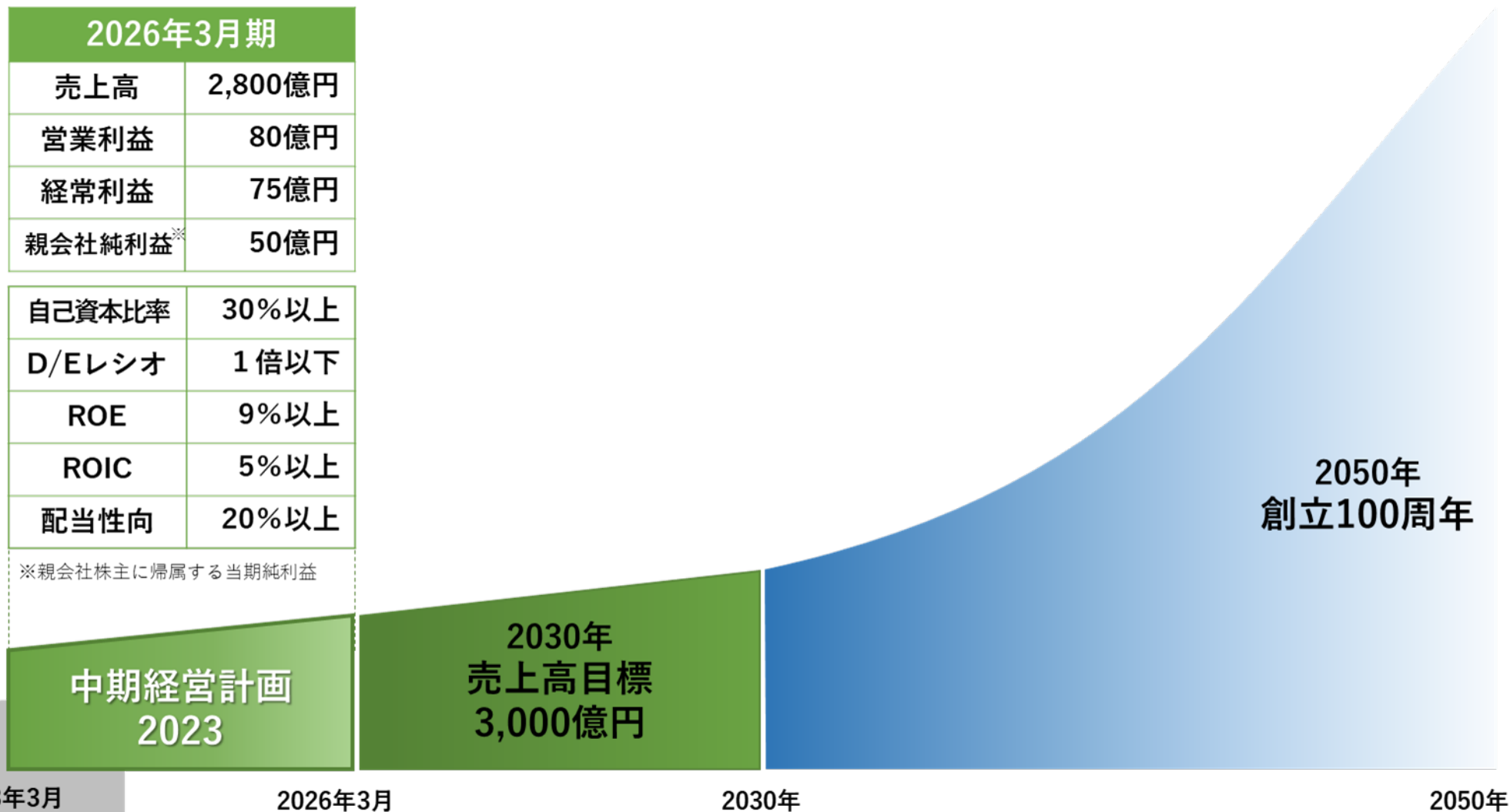
	2023年3月期	2024年3月期	増減額
建築資材セグメント	184,632	188,000	+3,367
■ 建築資材	184,311	187,700	+3,388
■ 木材市場	320	300	△20
住宅セグメント	41,530	45,500	+3,969
■ 一戸建住宅	10,387	12,500	+2,112
■ マンション	13,694	15,500	+1,805
■ 管理その他	17,449	17,500	+50
その他セグメント	10,166	10,500	+333
合計	236,329	244,000	+7,670

将来の見通し及び計画に基づく予測には不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しています。従って、将来の業績は現時点での当社の予想に対して大きく異なる可能性があります。

「中期経営計画2023」

4. 「中期経営計画2023」

新たな中期経営計画と企業価値向上に向けた方針を策定



2022年3月

2024年3月

基本方針

素材

我が国の潤沢な資源であり、地球温暖化対策として重要な役割を担う木材の取り扱いを強化するほか、建築物の省エネ化・ゼロエネ化に資する商品やサービスの提供を推進し、温室効果ガスの排出削減に努めます。

暮らし

ストック型社会の形成に向け、耐震・健康・省エネに配慮した良質で長寿命な住まいづくりを推進し、「横浜」を基盤とする住宅ストックサービスの拡充と既存住宅流通に係る事業の比重を高めます。

人

従業員の自主性・主体性の向上、更には、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを推進するとともに、「働きがい」と「働きやすさ」を高め従業員エンゲージメントの向上に努めます。

4. 「中期経営計画2023」

定量目標

	中期経営計画 (2021年5月12日発表) 最終年度計画 2024年3月期	2023年3月期 実績	「中期経営計画2023」 (今回発表) 最終年度計画 2026年3月期
売上高	2,300億円	2,363億円	2,800億円
営業利益	50億円	52億円	80億円
経常利益	45億円	49億円	75億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	35億円	37億円	50億円

4. 「中期経営計画2023」

経営指標

	中期経営計画 (2021年5月12日発表) 最終年度計画 2024年3月期	2023年3月期 実績	「中期経営計画2023」 (今回発表) 最終年度計画 2026年3月期
自己資本比率	30%	30.6%	30%以上
D/Eレシオ ※1	1倍以下	0.97倍	1倍以下
ROE	8%	8.1%	9%以上
ROIC ※2	—	4.9%	5%以上
配当性向 (連結)	—	12.5%	20%以上

※1 D/Eレシオ：(社債+借入金) / (株主資本+その他の包括利益累計額)

※2 ROIC：(営業利益-法人税等合計) / (社債+借入金+株主資本+その他包括利益累計額)
ROICについてはWACCを超える水準値である5%以上を目標

成長率引策

到達目標	成長率引策	
<p>国産木材 No.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 国産木材製品（製材品・集成材）取扱量No.1 ② 製材、プレカット事業の拡充【設備投資】 ③ 内外装木質化事業の推進【素材開発】 	
<p>超・物流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 首都圏物流機能再構築・CRE戦略の実行【設備投資・物流DX】 ② 受発注プラットフォームの構築【DX】 ③ エリア・機能の拡充【M&A】 ④ 施工機能の増強【機能再編・M&A】 	
<p>エリア No.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 「横浜」を基盤とする住宅ストックサービスの拡充と既存住宅流通の強化 ② 免震マンション供給No.1 ③ 中古住宅買取再販事業の拡充 ④ YOUテレビ(株)を活用したシナジーの創出 	

成長牽引策

到達目標	人的資本経営・環境経営
<p>主体的な風土の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① エンゲージメントサーベイの導入及びエンゲージメントスコアの向上 ② サクセッションプラン策定・実践、タレントマネジメントの構築 ③ 健康経営優良法人「ホワイト500」の認定取得
<p>社会的使命の達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① サステナビリティ委員会の推進 ② 中央安全衛生委員会の推進 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ① Scope 1・2のカーボンニュートラル達成 ② 社有林「ナイスの森」の保有面積及び植林面積の拡大による二酸化炭素吸収量の増大

4. 「中期経営計画2023」

設備投資

■越谷物流センター

- 2025年度の竣工を目指し「越谷物流センター」の建替計画の立案に着手
- 2022年10月に運用を開始した「関東物流センター」とともに首都圏物流体制の再構築及び強化を図る



■FTTH (ファイバー・トゥ・ザ・ホーム)化

- YOUテレビ(株)においてFTTH化に向けた設備投資を実施
- 第1工区 (横浜市鶴見区)、第2工区 (横浜市港北区・神奈川県川崎市川崎区) に続き、2024年3月の最終第3工区 (川崎市川崎区・幸区) 工事完了に向けて推進中
- 情報配信及び通信環境サービスインフラの充実を図るとともに、住宅事業における住宅ストックの活用及び既存住宅流通に係る事業等とのシナジーに活かしていく



高速Wi-Fi使い放題 アンテナいらずで
上り **2**ギガ & 地デジ・BS・4K視聴
下り



4. 「中期経営計画2023」

創立100周年を見据えた環境目標

- 木材の取り扱い強化、建築物の木造化・木質化の推進等に注力、利益を山元に還元し、森林資源の循環利用を実現
- 社有林「ナイスの森」の保有面積・植林面積の拡大による二酸化炭素吸収量の増大、再エネ由来電力への切り替え等を推進
- PDCAを回す軸としてサステナビリティ委員会を設置し、環境経営への取り組みに努め、脱炭素社会の実現に貢献

2050年目標	ALLバリューチェーン・カーボンニュートラルへの挑戦
2030年目標	森林育成と木材利活用によるカーボンニュートラル社会実現への貢献 ～Scope1・Scope2・Scope3のカーボンニュートラル達成 ※1～
2026年目標	ナイスグループにおけるカーボンニュートラルの達成 ～Scope1・Scope2のカーボンニュートラル達成 ※2～

※1 国産木材の利用による炭素貯蔵量等の「削減貢献量」や、社有林の二酸化炭素吸収量によるオフセットを含みます。

※2 社有林の二酸化炭素吸収量によるオフセットを含みます。

4. 「中期経営計画2023」

サステナビリティ委員会

■気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同及び同提言に基づく四つの情報開示



A) ガバナンス

B) 戦略

C) リスク管理

D) 指標と目標

■マテリアリティの特定

テーマ1. 素材
 カーボンニュートラル社会の実現に向けて

テーマ2. 暮らし
 社会との継続的な共生に向けて

テーマ3. 人
 人と社会から信頼される企業であり続けるために

■サステナビリティ委員会の設立

気候変動への対応を含むサステナビリティに関する事項全般を統括し、マテリアリティの特定及び目標設定、進捗確認などについて審議を行い、重要事項は取締役会へ報告・提言を行う

サステナビリティ委員会

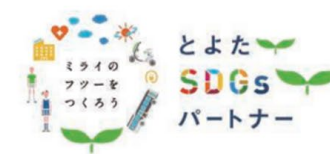
委員長：代表取締役社長
 委員：各部門責任者など

(2023年6月1日設置予定)

■行政機関と取り組む主要なSDGs



川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。





NiCE



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

ナイスグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。